

欧州の金融サービスのリーダ

自己学習のアプローチで次世代サイバー防御を実現

課題

- ・データ整合性の損失や損傷に対する脆弱
- ・内部脅威の問題
- ・過去にない標的型攻撃に対処する必要性
- ・柔軟性を維持しながらの情報保護

成果

- ・初日から検出された異常
- ・攻撃サイクルの初期に対応が可能
- ・進化するビジネス環境に適応
- ・高度な脅威に対する次世代の防御
- ・外部および内部の両方の脅威に対応

事業背景

この会社は、200万人の会員を持つ、主要な相互所有の金融サービスプロバイダーです。

課題

金融サービス部門は、データの損失や漏洩のリスクに直面しているだけでなく、自社のネットワークの情報やシステムの危険性が部外者または内部関係者のいずれかによって知らずに侵入されることです。従来のセキュリティ・ツールは、ネットワークの境界に焦点を当てて一方で、まん延したリスクを望むように情報システムを保護することは現実的に不可能であることが明らかになっています。重大なセキュリティ問題になる前に、組織内の高度な脅威や潜在的な問題に対応できることを希望していました。

ソリューション

会社は、外部および内部の脅威の組み合わせた課題に対処するためDarktraceエンタープライズ免疫システムを採用することを決定しました。Darktraceサイバーインテリジェンスプラットフォーム(DCIP)は、ケンブリッジ大学で開発された画期的なベイズ確率数学を応用した、事前に知識なしにリアルタイムで異常な挙動を検出することが可能な唯一のソリューションです。DCIPの自己学習能力は、常に各デバイス、ユーザおよびネットワーク全体のレベルで、組織から見た根拠に基づいて、その確率計算をしています。この会社は、進行中の脅威に即座に対応できる様に、世界をリードするDarktraceの3D脅威可視化ツール“Threat Visualizer(脅威ビジュアライザ)”を使用しています。脅威ビジュアライザは、同社のアナリストが、自社の情報システム内で何が起きているかを理解し、リアルタイムで進化する最も重要なリスクに対応することに集中することができます。

利益

Darktraceを導入した数週間で、この会社の金融サービスのリーダは、既存のセキュリティ・ツールで見えない、セキュリティ・チームに知られていなかった多くの異常の警告を受けました。

Darktraceは、先ず攻撃の初期段階で攻撃者が脆弱性をターゲットの環境内を見て回る偵察の兆候を検出します。パスワードの推測は、安全なリンク上で行われているこの活動は、Darktraceの組織の動的に理解により、異常としてのフラグが立てられます。Darktraceは、24時間に渡って、ネットワークを介してデバイスに認証しようとしているユーザ資格情報と、ポートスキャンを行っていた1台の機器を発見しました。これらの二つのイベントが、DCIPによって非常に不規則であると判断されて、潜在的な異常な問題としてリアルタイムで脅威ビジュアライザに表示されました。顧客は、初期の進行中の攻撃の表示により、すぐに脅威について調査でき、短時間に理解とDarktraceの専門知識実装によりリスクの軽減と有害な行動を抑制できました。

「他のすべてのサイバーセキュリティ・ツールをバイパスしていた、
新しい異常がリアルタイムに検出されました。」

Darktraceについて

世界経済フォーラムにて“テクノロジー・パイオニア”に選出されたDarktraceは、世界をリードするサイバー防御企業のひとつです。DarktraceのEnterprise Immune System技術は、ケンブリッジ大学で開発された機械学習と数学理論をベースに、組織内のあらゆるデバイス、ユーザおよびネットワークの動作を分析し、これまでに特定されていない脅威をリアルタイムに検出します。エネルギーおよび公益事業、金融サービス、ヘルスケア、電気通信、製造、小売り、輸送を含む産業分野の世界的大手企業がDarktraceの自己学習型アプライアンスを使用しています。Darktraceは最先端の機械学習の専門家と政府のインテリジェンス エキスパートにより2013年に設立され、本社は英国ケンブリッジと米国サンフランシスコにあり、オークランド、ボストン、シカゴ、ダラス、ロンドン、ロサンゼルス、ミラノ、ムンバイ、ニューヨーク、パリ、ソウル、シンガポール、シドニー、東京、トロントおよびワシントンDCに事務所を置いています。



株式会社ピーエスアイ

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル4F

TEL: 03-3357-9980 FAX: 03-530-4488

大阪営業所

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-21-13 新大阪日新ビル4F

TEL: 06-4805-9601 FAX: 06-4805-9610

問い合わせ先: